

様式第4のト (第4条、第5条関係)

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

①車名及び型式		〇〇自動車 KEG-2031E		単一車			
②製造事業所名		〇〇自動車工業株式会社					
③危険物	⑨側面枳	類別	第4類	⑩防	材	材質記号	SS400
	品名	第1、第2石油類	板厚	引張り強さ	400 N/mm ²		
	化学名	ガソリン、灯油、軽油	板厚	材質記号	SS400		
	比重	0.75、0.80、0.85	板厚	引張り強さ	400 N/mm ²		
④タンク	⑪断面形状	断面形状	だ円形	⑫閉鎖装置	自動閉鎖装置	有・無	
		長さ	4,800 mm		手動閉鎖装置	有・無	
		幅	2,290 mm		⑬出口の位置	左 右 後	
	高さ	1,300 mm	レバーの位置	左 右 後			
	最大容量	10,000 ℓ	⑭底弁損傷防止方法	配管の屈曲			
	タンク室の容量	1・2・3室 2,000 4室 4,000ℓ	⑮接地導線	有 (長さ 10m) ・ 無			
⑤防波板	⑯材料	材質記号	SS400	⑰緊締金具 (すみ金具)	有・無		
		引張り強さ	400 N/mm ²		Uボルト	材質記号	
	板厚	3.2 mm	鏡板		3.2 mm	引張り強さ	N/mm ²
⑥タンクの最大常用圧力	⑱間仕切板	間仕切板	3.2 mm	⑲箱枳	材質記号		
		材質記号	SPCC		引張り強さ	mm・本	
	引張り強さ	270 N/mm ²	板厚		1.6 mm	材質記号	
⑦設置	⑳面積比	面積比	1・2・3室 50.8	㉑消火器	薬剤の種類	消火粉末	
		防波板面積 タンク断面面積 × 100	4室 53.6%		薬剤量	3.5 kg	kg
⑧側面枳	㉒作動圧力	作動圧力	20 < P ≤ 24 kPa	㉓個数	個数	2個	個
		有効吹き出し面積	全室 25.5 cm ²		㉔可燃性蒸気回収設備	有・無	
	㉕材料	材質記号	SS400	㉕給油設備	有 (航空機・船舶) ・ 無		
		引張り強さ	400 N/mm ²	㉖備考			
㉗板厚	板厚	3.2 mm					
	㉘取付角度	37°					
㉙接地角度	78°						

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

※記入方法

各欄の該当しない部分は、「／」又は「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にしてください。

- ①車名及び型式は、車両製造メーカー名及び車検証に記載されている型式を記入してください。
- ②車両を用いて、タンク等をぎ装して移動タンク貯蔵所を製造した事業所名を記入してください。
- ③危険物は、貯蔵所に貯蔵が予定されるすべての危険物を記入してください。記入しきれない場合は、別紙に記入してください。
- ④タンクの緒元は、それぞれ該当する箇所を記入してください。材質は、J I S 記号により記入してください。
- ⑤防波板は、タンク室に設置が必要な場合は、該当する箇所をすべて記入してください。
なお、材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入してください。
- ⑥タンクの最大常用圧力は、その数値を記入してください。
- ⑦安全装置は、設置されるすべての安全装置が同じ性能である場合は、まとめて記入してください。
- ⑧側面枠は、それぞれ該当する箇所を記入してください。材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入してください。
- ⑨⑧と同様に記入してください。
- ⑩防護枠は、それぞれ該当する箇所を記入してください。材質は、J I S 規格番号又は材質記号により記入してください。
- ⑪～⑬閉鎖装置、吐出口及びレバーの位置は、該当する項目を○で囲むよう記入してください。レバーは、緊急停止レバーのことをいいます。
- ⑭底弁損傷防止方法は、配管の屈曲、フレキシブルチューブ、可とう結合金具等貯蔵所に用いられた措置について記入してください。
- ⑮接地導線は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合括弧内に接地導線の長さを記入してください。
- ⑯緊結装置は、積載式移動タンク貯蔵所の場合に該当する項目を記入してください。
- ⑰箱枠は、タンクコンテナ等の箱枠を有するタンクの場合に該当する項目を記入してください。
- ⑱消火器は、貯蔵所専用として車両等に取り付けられる消火器について、該当する事項を記入してください。
- ⑲可燃性蒸気回収設備は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入してください。
- ⑳給油設備は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入し、有の場合は、括弧内の該当しないものを二重線で抹消してください。
- ㉑備考欄は、特殊な移動タンク貯蔵所である場合等に概要を記入してください。
(例)「加熱設備有り、冷却装置有り」